

平成18年の土砂災害

Occurrence of sediment-related disasters in 2006

平成18年の土砂災害

【国土交通省 砂防部】

土砂災害発生件数

1,441件

（土石流：169件
がけ崩れ：1,057件
地すべり：215件）

死者：**25名**

（うち梅雨前線豪雨：21名）



＜7月豪雨による被災状況＞

-1-

おかやし みなとさんちょうめ おだいさわか
《長野県 岡谷市 湊3丁目 小田井沢川》

平成18年発生土砂災害被害状況

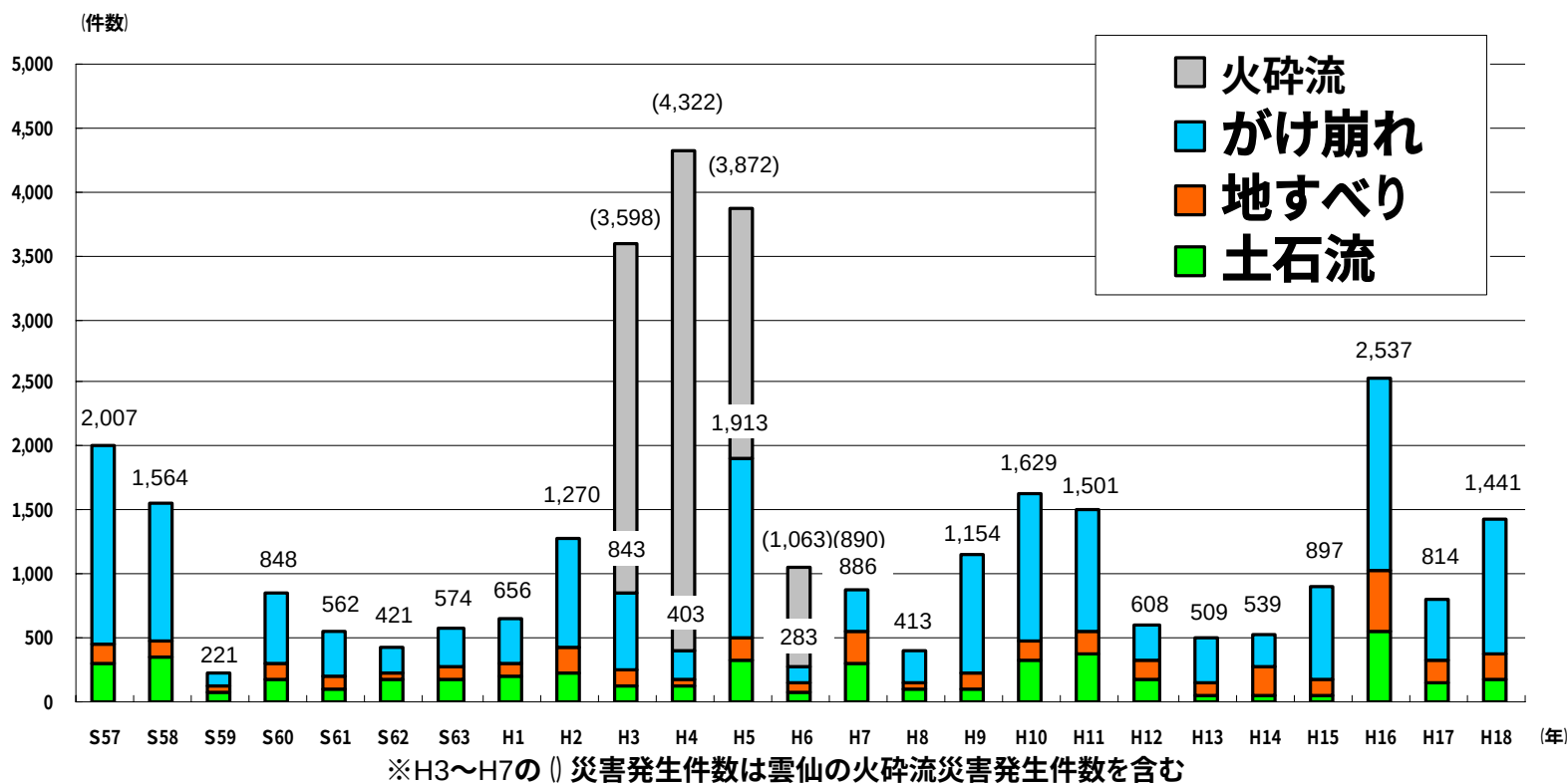
発生災害	発生件数	人的被害			家屋損壊数		
		死者	行方不明	負傷者	全壊流出	半壊	一部損壊
土石流	169	15 ※ ¹	0	9	36	27	22
地すべり	215	3 ※ ²	0	3	10	2	16
がけ崩れ	1,057	7 ※ ³	0	20	33	24	265
計	1,441	25	0	32	79	53	303

※1：長野県10名、島根県1名、岡山県1名、鹿児島県1名、佐賀県2名

※2：京都府2名、奈良県1名

※3：熊本県1名、福井県2名、島根県2名、鹿児島県2名

S57～H18 土砂災害発生件数



～平成18年の主な土砂災害～

・5/12～13

岐阜県揖斐川町 東横山地すべり

・6/10

沖縄県中城村 地すべり

・6月～8月

梅雨前線豪雨 (東北～沖縄)

・7/15～24

平成18年7月豪雨 (東北～九州)

・9/16～20

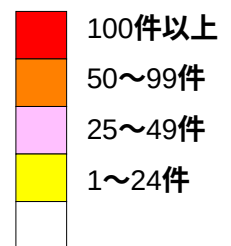
台風13号 (中国・四国・九州)

平成18年の土砂災害発生状況

平成18年 46都道府県で1,441件の土砂災害が発生

- ・梅雨前線豪雨 (6月～8月)
- ・平成18年7月豪雨 (7/15～7/24)
- ・台風13号

凡例
土砂災害発生件数



死者
25名

平成18年
1,441件

- ・史上最多10個の台風上陸
- ・新潟中越地震

- ・福岡県西方沖地震
- ・台風14号

死者・行方不明者
62名

平成16年
2,537件

死者・行方不明者
30名

平成17年
814件

❖ Snow Avalanche Disasters ❖

雪崩:100件※ ※道路にかかる雪崩を含む
うち、集落雪崩(住家周辺の雪崩):28件
その他土砂災害:76件

※各年は暦年
※H17年はH17年1月～H17年4月
※H18年はH17年12月～H18年4月

地域 (Region)	雪崩発生件数 (集落雪崩) (Number of Snow Collapse Incidents (Settlement Snow Collapse))	死者・行方不明者 (集落雪崩) (Deaths and Missing Persons (Settlement Snow Collapse))
S54	0	0
S55	2	0
S56	7	14
S57	0	0
S58	0	0
S59	10	5
S60	4	0
S61	4	15
S62	0	0
S63	0	0
H1	0	0
H2	1	0
H3	6	0
H4	0	0
H5	0	0
H6	2	0
H7	1	0
H8	5	0
H9	1	0
H10	0	0
H11	1	0
H12	1	0
H13	1	0
H14	4	0
H15	1	0
H16	11	0
H17	10	0
H18	29	1

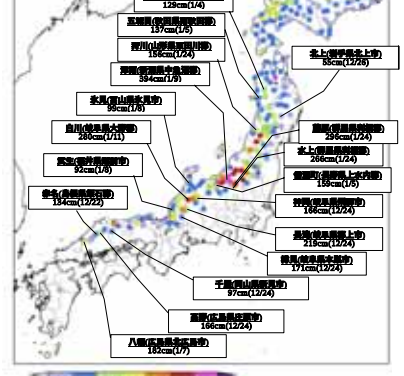
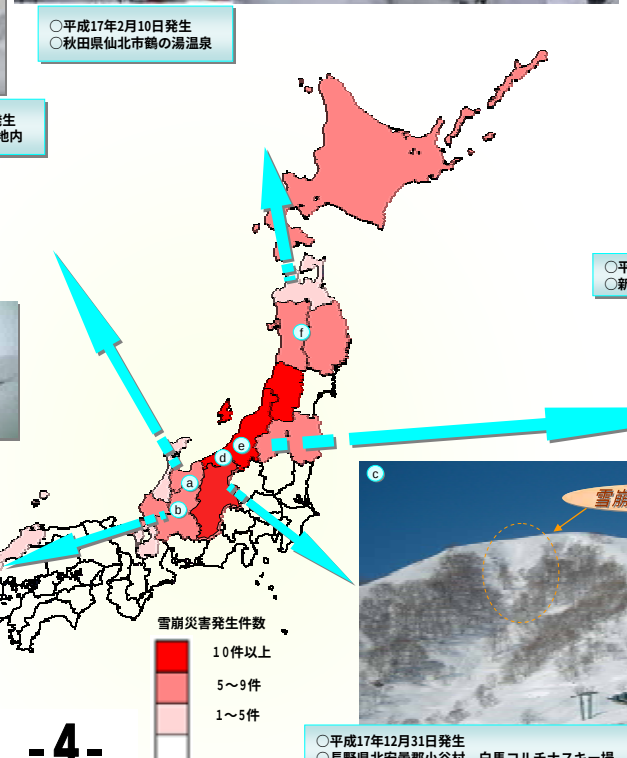
新潟県湯之谷村(6名)
" 守門村(8名)

新潟県能生町(13名)
山形県尾花沢市(2名)

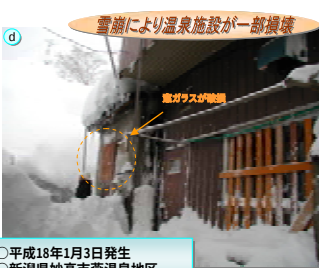
新潟県中里村(5名)

秋田県仙北市(1名)

14道県において100件の雪崩災害が発生
(18. 5. 2現在)



※丸で示した色はアメダス積雪深計で観測した各地点の1月11日9時現在の積雪の深さを示す。



- 平成18年1月5日発生
- 新潟県十日町市浅河原地区

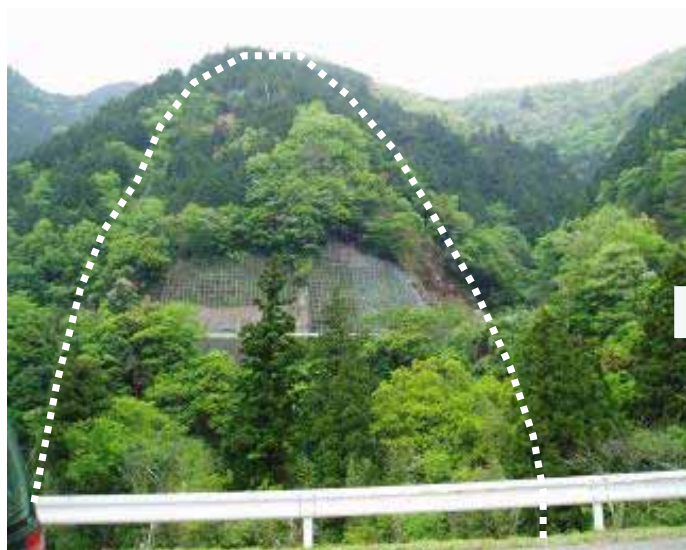
一場

5月12日～13日 岐阜県揖斐川町 東横山地すべり

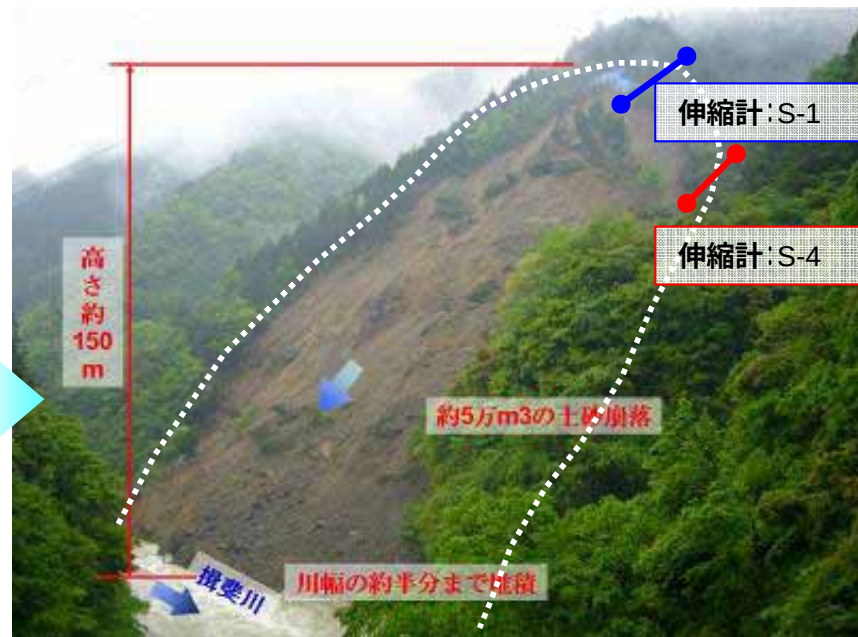
平成18年5月12～13日に、岐阜県揖斐川町東横山地区において地すべりによる崩落が発生し、崩落土砂が揖斐川に流入。

~Landslide~

位置図

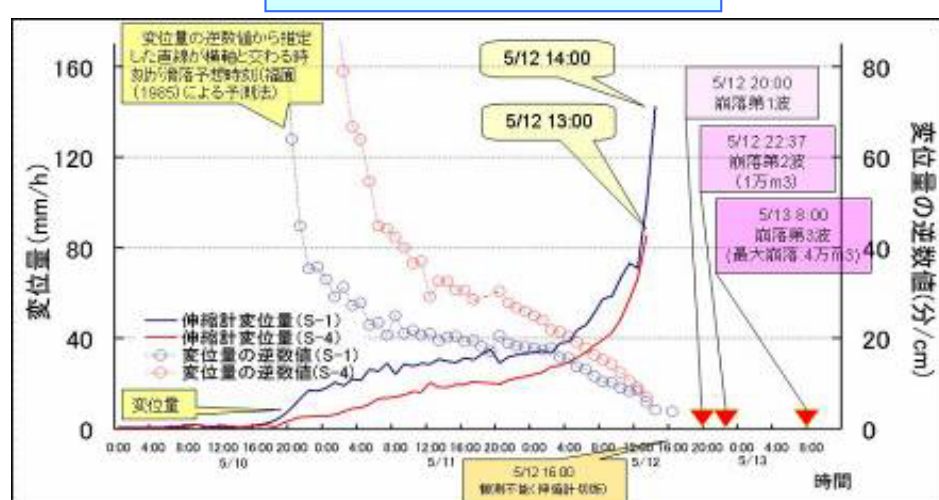


写真① 崩落前の状況(H18.5.12 17時頃撮影)



写真② 崩落後の状況 (H18.5.13 9時頃撮影)

地すべりの挙動と崩落予測



写真③ 監視状況 (H18.5.14撮影)

6月10日発生 沖縄県中城村 地すべり

平成18年6月10日に、沖縄県中城村において地すべりによる崩落が発生し、県道及び村道が崩落。崩落土砂が人家に迫った。

~Landslide~



地すべり斜面上部の住宅被災状況



村道坂田線(13号)

大型土のうによる応急対策



梅雨前線豪雨による土砂災害

Downpour in rainy season



⑤ 福岡県

⑤7/19 福岡県福岡市 (2名)



① 長野県



② 長野県



⑥ 京都府



総件数: 1,006件
〔土石流: 139件
がけ崩れ: 747件
地すべり: 120件〕

①7/19 長野県岡谷市 湊3丁目 (7名)

②7/19 長野県岡谷市 川岸東 (1名)

③7/19 長野県辰野町飯沼 (1名)

④7/19 長野県辰野町小横川 (1名)

⑨7/19 岡山県新見市 (1名)

⑦7/19 島根県美郷町 (1名)

⑧7/17 島根県雲南市 (1名)

⑦ 島根県



7府県13箇所で
死者21名



⑨岡山県

⑪7/22 鹿児島県 菱刈町 下手仲間 (1名)

⑫7/22 鹿児島県 薩摩川内市 下手城北 (1名)

⑬7/22 鹿児島県 菱刈町 前目 (1名)

⑩6/26 熊本県山都町 (1名)



⑪ 鹿児島県



⑪ 鹿児島県



⑩熊本県

■土砂災害での犠牲者の割合が多かった



梅雨前線豪雨による死者・行方不明者32名のうち、
土砂災害での犠牲者は21名



21名

11名

長野県岡谷市周辺の土石流発生状況 (梅雨前線豪雨)

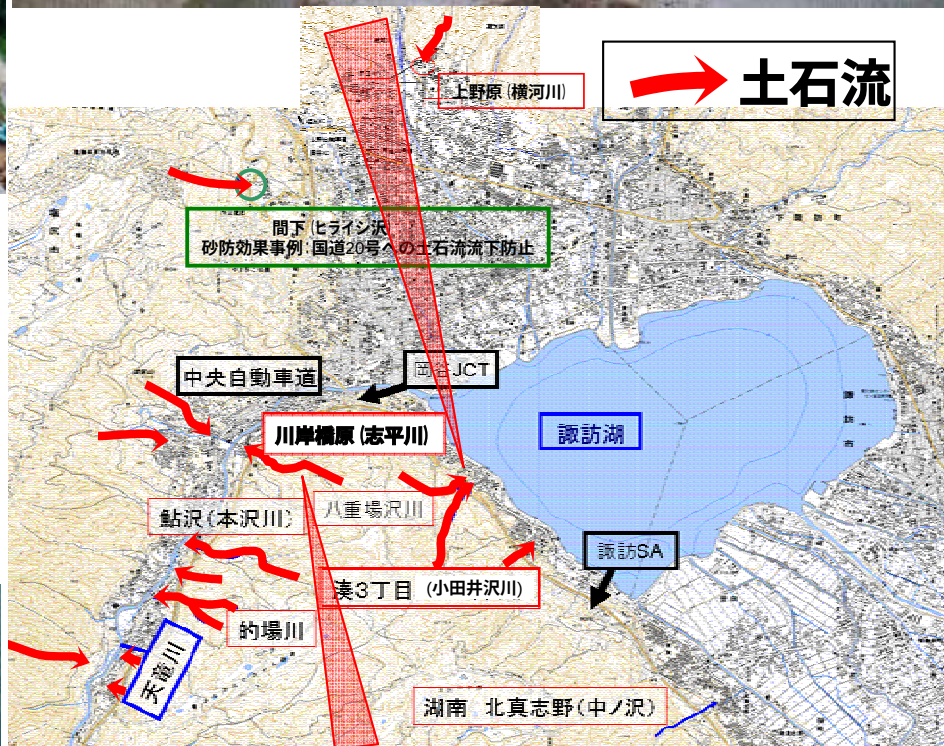
Downpour in rainy season



小田井沢川 岡谷市 湊3丁目

死者7名

岡谷市周辺で
土石流等の
土砂災害が多発



土石流

志平川 岡谷市 川岸橋原

死者1名



9月4日～7日 台風13号による土砂災害

佐賀県伊万里市黒川町櫓原
土石流 (死者2名)

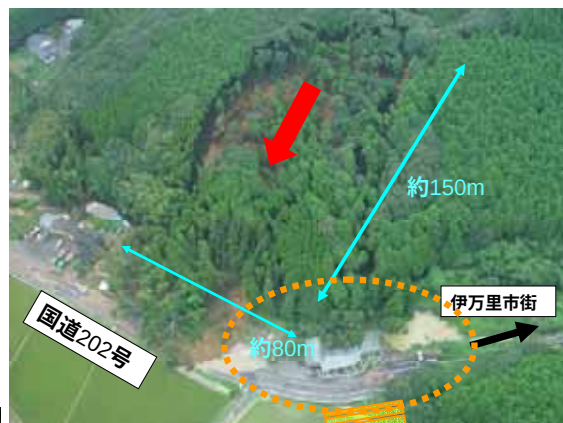
佐賀県伊万里市南波多町府招
地すべり

~Typhoon 13th~

総件数64件

〔 土石流 : 12件
がけ崩れ: 50件
地すべり: 2件 〕

死者:2名



広島県広島市安佐北区可部町綾ヶ谷
土石流

高知県室戸市佐喜浜町中尾
土石流



平成18年に発生した土砂災害の特徴

●土砂災害により人命が失われた16箇所について

(熊本県、長野県、福井県、京都府、奈良県、島根県、岡山県、佐賀県、鹿児島県)

○砂防堰堤等の整備箇所 0箇所

整備箇所 0箇所 (0%)

未整備箇所 16箇所 (100%)

○土砂災害警戒区域等が指定されていた箇所 0箇所

指定箇所 0箇所 (0%)

未指定箇所 16箇所 (100%)

●土石流が発生した169箇所について

○砂防指定地に指定されていた箇所 43箇所

指定箇所 43箇所 (25%)

未指定箇所 126箇所 (75%)

平成18年災害関連緊急砂防等事業 採択状況

平成18年7月豪雨 (7/15～7/24) による土砂災害

担当官の現地派遣により発災から
約3週間 (8/11) で災関採択

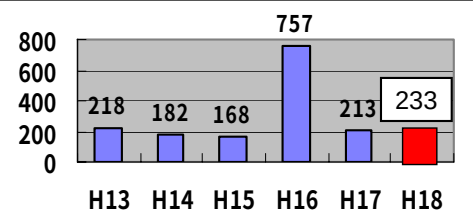
長野県

沖縄県

鳥取県

災関採択状況

(事業費: 億円)



直轄／地整名	直轄計(百万円)	
	箇所数	事業費
四国山地砂防	3	544.9
広島西部山系砂防	1	240.0
川辺川ダム砂防	1	195.0
直轄事業計	5	979.9

補助／府県名	補助計(百万円)	
	箇所数	事業費
青森県	1	288.0
山形県	1	249.0
宮城県	1	30.7
福島県	2	303.7
茨城県	1	152.6
千葉県	1	213.1
長野県	37	7,527.7
富山県	2	241.9
岐阜県	2	1,160.4
静岡県	1	390.2
福井県	1	48.0
京都府	1	382.1
兵庫県	1	169.6
鳥取県	10	2,033.3
島根県	9	1,319.5
広島県	3	455.2
山口県	1	80.6
徳島県	1	334.1
愛媛県	2	144.4
高知県	1	141.1
福岡県	2	37.6
佐賀県	7	1,263.0
長崎県	2	109.9
熊本県	7	1,792.8
大分県	1	95.0
宮崎県	3	255.2
鹿児島県	18	1,183.7
沖縄県	2	1,894.1
補助事業計	121	22,296.7

(百万円)

総合計	126	23,276.6
-----	-----	----------

京都府

鹿児島県

佐賀県

熊本県

被災地域の復興のため砂防激甚災害対策特別緊急事業を計画しています。

【施設効果】土石流に対する効果

施設効果事例

くまがわ かわべがわ
球磨川水系川辺川 田口砂防えん堤
くまぐん いつきむら とうじ
(熊本県球磨郡五木村頭地地先)

~Effect~

平成18年7月24日(梅雨前線豪雨)に発生した土石流を捕捉



【保全対象】
人家92戸
公共施設16
保健福祉センター
小学校、診療所
役場、駐在所
商工会、JA等



上流の渓流の崩壊状況



田口砂防えん堤 (H14完成)



捕捉前 (H15)



- ・土石流や流木 約6,000m³を捕捉
- ・下流の民家等に被害無し

7月24日



次期出水に備え
緊急的に撤去

8月31日

【施設効果】土石流に対する効果

施設効果事例

てんりゅうがわ おおかわ
天竜川水系大川 ヒライシ沢砂防えん堤
ました
(長野県岡谷市間下)

~Effect~

平成18年7月18～19日(梅雨前線豪雨)に発生した土石流を捕捉



- ・土石流や流木 約2,000m³を捕捉
- ・下流の保全対象に被害無し



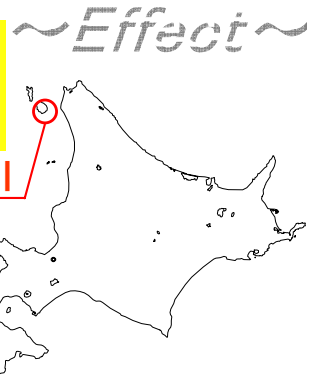
【施設効果】土石流に対する効果

施設効果事例

おちゅうしないかわ
雄忠志内川 3号えん堤
(北海道 利尻郡 利尻富士町 雄忠志内地先)

【保全対象】
人家27戸
どうどう くつがた せんぼうし おしどまり せん
道道沓形仙法志鷺泊線

雄忠志内川



平成18年10月19日の降雨
により発生した土石流を捕捉

土石流発生前 (10/19撮影)



土石流捕捉 (10/20撮影)



土石流発生前 (10/19撮影)



土石流捕捉 (10/20撮影)



・土石流を捕捉
・下流の保全対象に被害無し

【施設効果】 かけ崩れに対する効果

～Effect～

施設効果事例

急傾斜地崩壊防止施設の効果 (福井県あわら市吉崎 吉崎地区)

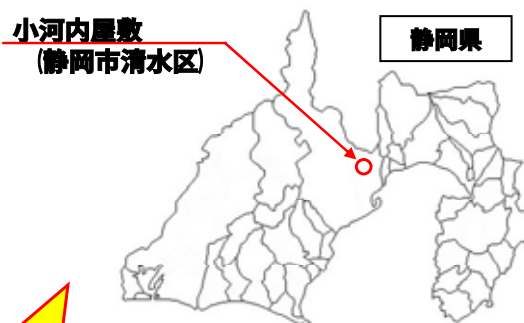
- 平成18年7月15日からの豪雨 (連続雨量254mm) により、 かけ崩れが発生
- 重力式擁壁が崩落土砂を捕捉し被害が人家への被害を防止



施設効果事例

急傾斜地崩壊防止施設の効果 (静岡県静岡市清水区 小河内屋敷地区)

- 平成18年9月17～18日の豪雨 (総雨量89mm、最大時間雨量32mm) により、 かけ崩れが発生しましたが、 防止施設 (擁壁工) が崩壊土砂をくい止め、人家への被害を防ぎました。



しずおかけん しずおかし しみずく こごうちやしき

静岡県静岡市清水区 小河内屋敷地区 (かけ崩れ)

保全人家 11戸